

平成21年8月21日  
北海道電力株式会社

試運転中の泊発電所3号機における  
B - 非常用ディーゼル発電機の損傷について

平成21年8月19日、定格出力にて試運転中の泊発電所3号機において、3B - 非常用ディーゼル発電機\*1の定期試験を実施していたところ、15時13分、過給機\*2の不調により、3B - 非常用ディーゼル発電機を手動停止しました。

この状態は、保安規定に定める運転上の制限\*3を満足していないことから、15時14分、運転上の制限からの逸脱を宣言しました。

原因は調査中です。

なお、3A - 非常用ディーゼル発電機の健全性は確認済みです。

また、本事象による外部への放射能の影響はありません。

\* 1 非常用ディーゼル発電機

- ・ 外部電源が喪失した場合に、発電所を安全に停止するために必要な電源を供給し、さらに工学的安全施設作動のための電源を供給する。
- ・ 2基設置しており、1カ月に1回、ディーゼル発電機を待機状態から起動し、定格出力で運転可能であることを確認する。

\* 2 過給機

- ・ 機関の排気ガスのエネルギーを利用しタービンを回すことにより燃焼用空気を圧縮して機関に供給する装置（ターボチャージャー）。

\* 3 保安規定に定める運転上の制限

- ・ 保安規定に定める運転上の制限においては、運転中は非常用ディーゼル発電機が2基とも動作可能であることを規定している。

（8月19日、当社ホームページにてお知らせ済み）

これまで点検を実施した結果、本日、過給機に損傷が発見され、非常用ディーゼル発電機に必要な機能を有していないことを確認しました。

本件については、原子炉等規制法に基づき原子力安全・保安院に、また、安全協定に基づき北海道及び地元四カ町村に連絡済みです。

なお、引き続き原因を調査してまいります。

また、3号機については、計画していたプラントを停止した状態での設備・機器全般の点検を行うため、本日16時頃から出力を徐々に低下させ、22時頃発電を停止する予定です。

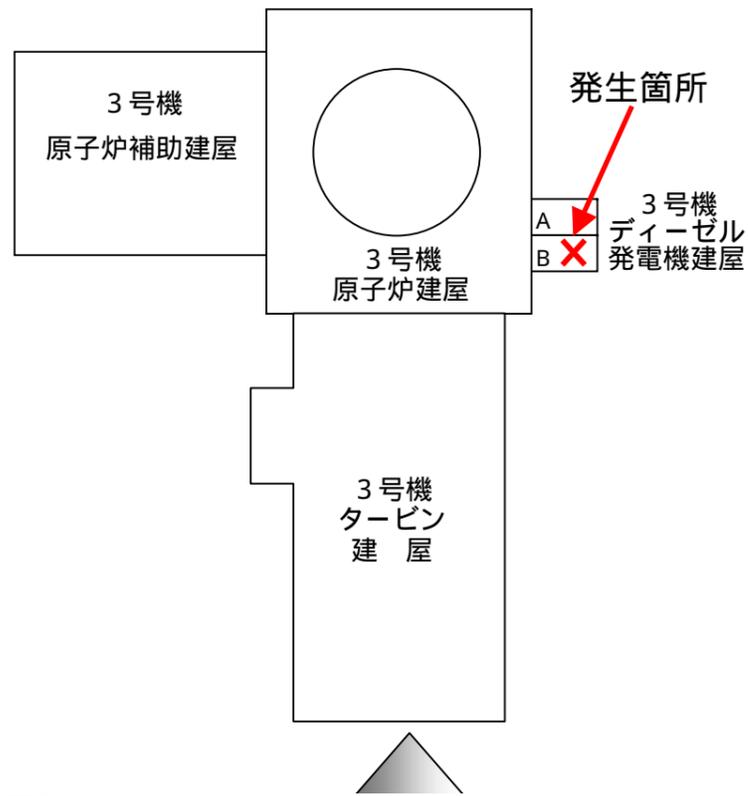
<添付資料>

泊発電所3号機 非常用ディーゼル発電機配置図および概略図

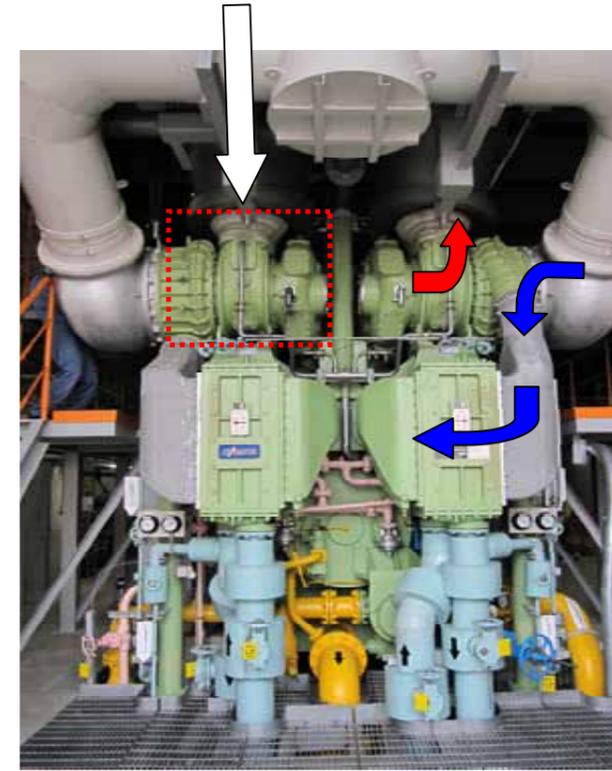
以上

泊発電所 3号機 非常用ディーゼル発電機配置図および概略図

添付資料

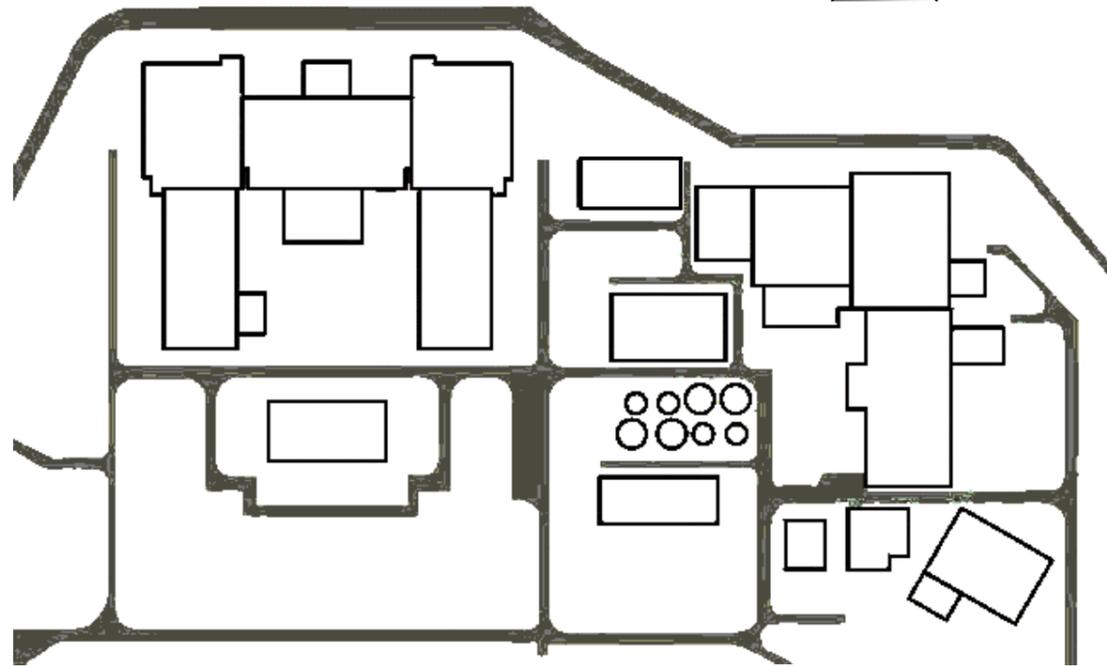


当該過給機



← : 吸気の流れ  
← : 排気の流れ

A 視 : 過給機



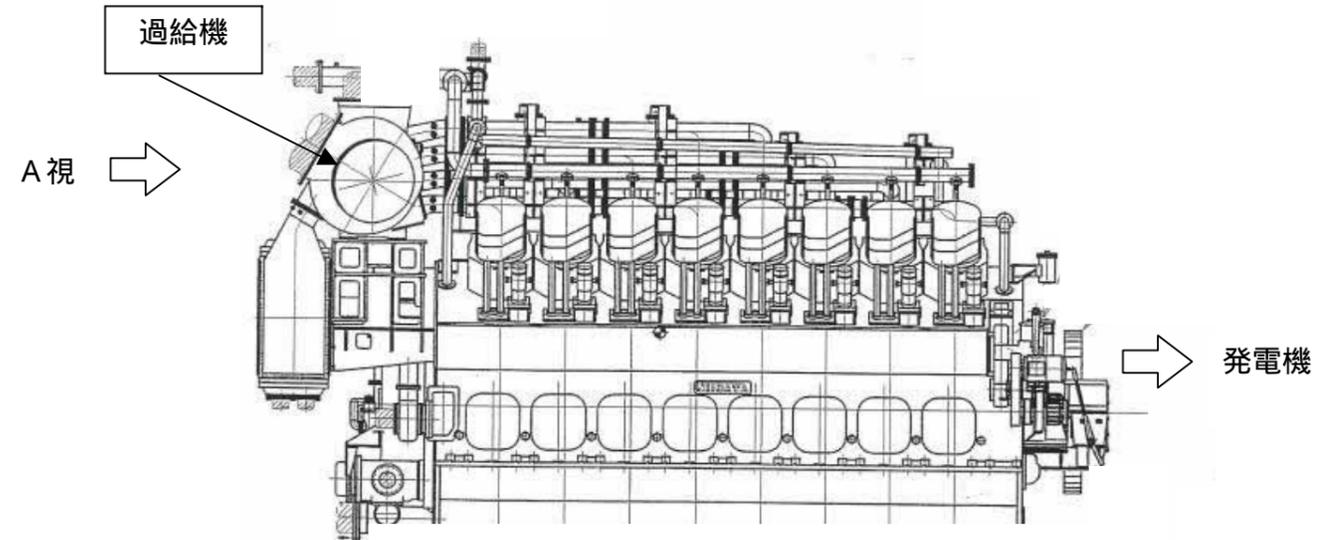
泊発電所配置図

非常用ディーゼル発電機の仕様

設置数	2基
機関回転数	毎分750回転
機関出力	5,800 kW/基
発電機出力	5,600 kW/基
発電機電圧	6,900 V

過給機の寸法(破線部)

高さ	約1m
幅	約2m



ディーゼル機関外形図